

◆熊本地震の概要について

・産業技術総合研究所 P2

◆各団体からの活動報告

①事務局(防災対策企画課) P4

②大分県消防長会 P9

③大分県警察本部 P11

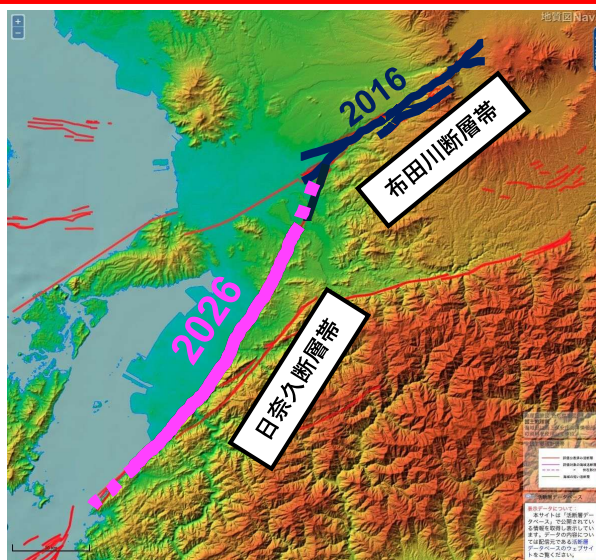
④日本赤十字社大分県支部 P12

⑤県 健康政策・感染症対策課 P14

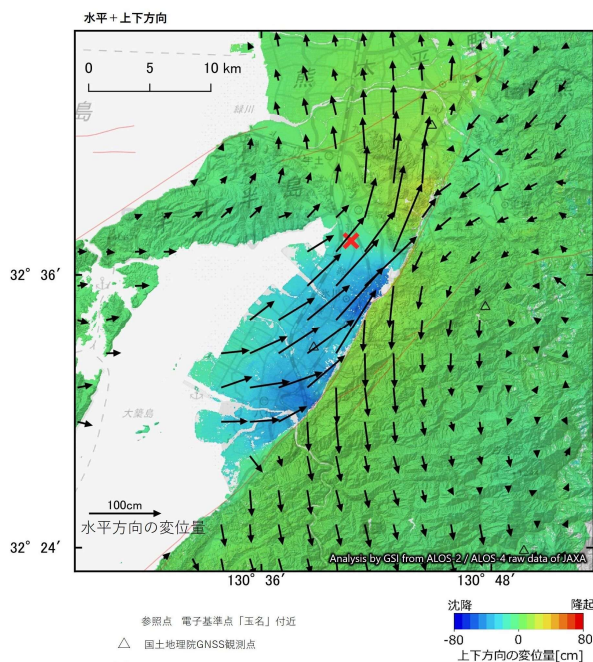
⑥大分県社会福祉協議会 P15

2026年熊本地震について

2026年8月28日 大分県防災会議
産業技術総合研究所 吉見雅行



熊本地震の断層位置



地殻変動 (国土地理院)

■日奈久断層帯で発生 (震源域北部は2016年熊本地震と重なる)

地震規模 M7.1 (Mw6.8) 震源深さ 16 km
地震タイプ 横ずれ断層
地表のずれ 最大2m (右横ずれ), 1m程度 (上下変動)
概ね既往の活断層線近傍に出現

※発生が想定されていた地震

地震本部の長期評価では地震発生確率の高いSランク
2016年熊本地震により発生の危険性が高まったとされていた
熊本県の防災想定対象

■八代平野を中心に強い揺れおよび断層変位による被害

地震観測点での揺れ

震源近傍 計測震度 7 (宇城市豊野町, 氷川町)
震度 6 強 (八代市, 宇城市, 益城町, 熊本市等)
長周期地震動 階級 4 (八代市, 宇城市)

→古い建物の倒壊・損壊, 煙突, 免震装置被害

断層変位

八代平野と山地の境界付近に 1 m 以上のずれ出現

→線状インフラの被害 (道路, 鉄道, 農業用水, 水道)
→直上構造物の被害 (家屋, 学校等)

地表地震断層と構造物被害

断層変位による被害が広範に発生

※活断層の地震では普遍的現象。対策が急務。



地表地震断層位置図 (2026.8.21現在)



断層が直撃した龍峯小学校



断層を境にした地盤のくい違いで被災した橋梁

令和8年熊本地震にかかる大分県内の被災地支援状況

令和8年8月24日12時現在

No	応援種別	項目	派遣先	人数				対応内容・今後予定	問い合わせ先
				派遣済 (延べ 人数)	うち 県職員	現在 活動中	うち 県職員		
1		リエゾン派遣	八代市 熊本県庁	8	8	1	1	7/28(火)～8/2(日)計4名派遣 8/7(金)～ 熊本県庁へ派遣(1名)※継続中	【生活環境部】 防災対策企画課 (097-506-3067)
2		避難所運営支援 (対口支援)	八代市	129	104	21	16	8/1(土)～第1陣・8/4～第2陣 各陣12名 8/7(金)～第3陣 以降 各陣21名(県16名、市町村5名) 8/24(月)現在 第7陣が活動中	【総務部】 人事課 (097-506-2305)
3		避難所運営支援 (大分県避難所運営 コーディネーター)	八代市	4	0	2	0	8/17(月)～20(木) 第1陣から順次派遣 9/11(金)～14(月)第7陣まで予定(各陣2名体制)	【生活環境部】 協働・共助推進 室 (097-506-3181)
4	人的 支援	緊急消防援助隊	八代市 氷川町 嘉島町	279	0	－	－	7/28(火)～ 1次派遣隊から6次派遣隊まで 計279名出動 7/31(金) イオンモール熊本及び熊本労災病院にて活動 8/13(木) 総務省消防庁より引揚指示 8/14(金) 全隊活動終了	【生活環境部】 消防保安室 (097-506-3158)
5		DMAT (災害派遣医療チーム) Disaster Medical Assistance Teamの略称 災害の発生直後の急性期(発災後概ね48時間以内) (医師、看護師、業務調整員等4～6名で構成)	参集場所 5次派遣:八代 保健所	104	4	－	－	7/28(火)厚生労働省DMAT事務局から派遣要請あり →7/28(火)～8/1(土)全19チームが活動 8/9(日)～8/13(木)5次派遣として、全4チームが活動 ※熊本県へのDMAT派遣は第5次派遣で終了	【福祉保健部】 医療政策課 (097-506-2648)
6		DPAT (災害派遣精神医療チーム) Disaster Psychiatric Assistance Teamの略称 専門性の高い精神科医療の提供等 (精神科医師、看護師等3～5名)	参集場所: 熊本県DPAT 調整本部(熊 本県庁内)	16	4	－	－	7/28(火)厚生労働省DPAT事務局から派遣要請あり →7/31(金)1次派遣チーム活動終了 7/30(木)厚生労働省DPAT事務局から2次派遣要請あり →8/2(日)第1陣以降現地にて活動、第3陣8/8(土)に活動終了 ※現時点で追加の派遣要請なし	【福祉保健部】 障害福祉課 (097-506-2720)

令和8年熊本地震にかかる大分県内の被災地支援状況

令和8年8月24日12時現在

No	応援種別	項目	派遣先	人数				対応内容・今後予定	問い合わせ先
				派遣済 (延べ 人数)	うち 県職員	現在 活動中	うち 県職員		
7	人的支援	DHEAT (災害時健康危機管理支援チーム) Disaster Health Emergency Assistance Teamの略称 (医師、薬剤師、保健師、栄養士等5名で構成)	八代市	20	20	5	5	8/2(日)厚生労働省から派遣要請あり →8/3(月)～8/9(日)を第1陣とし、以降、順次活動 →8/20(木)～8/26(水)第4陣派遣、活動中 →8/26(水)～9/1(火)第5陣派遣予定 (派遣期間は8/3～9/1の予定、7日程度で人員交代)	【福祉保健部】 健康政策 ・感染症対策課 (097-506-2678)
8		保健師等チーム (保健師、業務調整員(事務)4名で構成)	八代市	20	8	4	0	7/29(水)厚生労働省から派遣要請あり →7/31(金)～8/6(木)を第1陣とし、以降、順次活動 →8/24(月)～8/30(日)第5陣派遣予定 (派遣期間は2カ月程度の予定 7日程度で人員交代)	【福祉保健部】 健康政策 ・感染症対策課 (097-506-2678)
9		災害支援ナース (看護師2名程度)	宇城市 ①松橋西防災 拠点センター ②熊本県立豊 野少年自然の 家	28	0	4	0	7/31(金)厚生労働省から派遣要請あり →8/3(月)～8/6(木)を第1陣とし、以降、順次活動 →8/21(金)～第7陣活動中 (派遣期間は9/14までの予定 4日間で人員交代)	【福祉保健部】 医療政策課 (097-506-2653)
10		DWAT (災害派遣福祉チーム) Disaster Welfare Assistance Teamの略称 高齢者や障がい者など配慮を要する避難者の福祉・介護 ニーズの把握や相談・支援	宇城市 (宇城広域連 合)	29	0	4	0	7/31(金)熊本県から派遣要請あり →8/4(火)～8/7(金)を第1陣とし、以降、順次活動 →8/24(月)～8/27(木)第8陣派遣予定 (派遣期間は当分の間の予定 4日程度で人員交代)	【福祉保健部】 福祉保健企画課 (097-506-2611)
11		JMAT (医療救護班) Japan Medical Association Teamの略称 災害発生後の急性期以降の支援(医師、看護師、業務調整員)	八代市	26	0	8	0	7/30(木)日本医師会から九州ブロック幹事県の鹿児島県医師会 経由で派遣要請あり →8/6(木)～8/10(月)第1陣以降、8/26(水)まで順次派遣予定	【福祉保健部】 医療政策課 (097-506-2648)
12		JRAT (リハビリ支援チーム) Japan Disaster Rehabilitation Assistance Teamの略称 生活不活発病及びエコノミークラス症候群の予防活動等	八代市 宇城市	5	0	0	0	8/2(月)熊本県から派遣要請あり →8/4(火)～8/15(土) 第1陣、第2陣活動 →9/1(火)～9/5(土) 第3陣の要請があり調整中 (以降、要請に従って派遣予定 5日程度で人員交代)	【福祉保健部】 県民健康増進課 (097-506-2747)

令和8年熊本地震にかかる大分県内の被災地支援状況

令和8年8月24日12時現在

No	応援種別	項目	派遣先	人数				対応内容・今後予定	問い合わせ先
				派遣済 (延べ 人数)	うち 県職員	現在 活動中	うち 県職員		
13	人的支援	JDAT (災害支援歯科チーム) Japan Dentai Alliance Teamの略称 応急歯科医療や口腔衛生を中心とした公衆衛生活動の支援	宇城市 宇土市 美里町	8	0	-	-	8/4(火)日本歯科医師会から大分県歯科医師会に派遣要請あり →8/9(日)～8/16(日) 第1陣・第2陣活動 (派遣期間は1週間程度の予定 4日間で人員交代) ※現時点で追加の派遣要請なし	【福祉保健部】 県民健康増進課 (097-506-2747)
14		JDA-DAT (日本栄養士会災害支援チーム) The Japan Dietetic Association-DisasterAssistance Teamの略称 食事の栄養アセスメントや、通常の食事が摂れない避難者に対する栄養相談や個別支援	八代市	1	0	-	-	7/31(金)厚生労働省から日本栄養士会に派遣要請あり →8/8(土)～8/13(木) 九州各県混合チームとして、管理栄養士1名派遣 ※現時点で追加の派遣要請なし	【福祉保健部】 県民健康増進課 (097-506-2747)
15		広域緊急援助隊 (県警)	氷川町等	非公表				7/28(火)～7/31(金)広緊隊(警備部隊)活動 7/28(火)～8/1(土)広緊隊(交通部隊1期)活動 8/17(月)～広緊隊(交通部隊2期)活動開始	【県警】 警備運用課 (097-536-2131)
16		特別自動車警ら部隊 (県警)	宇土市等	非公表				7/30(木)～8/7(金) 1期活動 8/12(水)～8/20(木) 2期活動 8/28(金)～9/6(日) 3期活動予定	【県警】 地域課 (097-536-2131)
17		特別警備部隊 (県警)	宇城市等	非公表				8/3(月)午後～8/12(水) 1期活動 8/12(水)～21(金) 2期活動予定 8/21(金)～8/30(日) 3期活動予定	【県警】 警備運用課 (097-536-2131)
18		被災者支援部隊 (県警)	八代市等	非公表				7/31(金)～8/8(土) 1期避難所等を訪問 8/24(月)～9/2(水) 2期活動予定	【県警】 生活安全企画課 (097-536-2131)
19		特別機動捜査隊 (県警)	宇城市等	非公表				8/17(月)～8/26(水)まで活動予定	【県警】 刑事企画課 (097-536-2131)

令和8年熊本地震にかかる大分県内の被災地支援状況

令和8年8月24日12時現在

No	応援種別	項目	派遣先	人数				対応内容・今後予定	問い合わせ先
				派遣済 (延べ 人数)	うち 県職員	現在 活動中	うち 県職員		
20	人的支援	建築物応急危険度判定士	氷川町 八代市 美里町	22	10	-	-	8/1(土)～8/9(日) 被災建物の調査を実施 大分県その他、大分市・別府市・中津市・日田市・佐伯市・宇佐市からも職員を派遣	【土木建築部】 建築住宅課 (097-506-4679)
21		下水道被災状況調査	八代市 宇城市 氷川町 宇土市	12	2	-	-	8/1(土)～8/7(金)から調査を実施 大分県その他、大分市、日田市、津久見市、宇佐市、佐伯市からも職員を派遣	【土木建築部】 公園・生活排水課 (097-506-4667)
22		上水道応急復旧	芦北町 宇城市 氷川町	27	0	9	0	8/1(土)～ 日本水道協会(市町村職員)等で水道施設応急復旧 大分市、別府市、日田市、中津市から職員を派遣	【生活環境部】 環境保全課 (097-506-3119)
23		災害廃棄物処理	宇土市	1	0	1	0	廃棄物処理に関する契約事務等を実施 8/24(月)～9/18(金)に大分市から職員を派遣	【生活環境部】 循環社会推進課 (097-506-3126)
計(※警察除く)				739	160	59	22		
24	物的支援	義援金	-	-	-	-	-	7/30(木)～大分県庁舎に募金箱設置 7/31(金)～大分県総合庁舎に募金箱を設置 義援金は日赤に入金予定	【福祉保健部】 福祉保健企画課 (097-506-2611)
25		給水車(市町村)	益城町 八代市	7台	-	4台	-	7/29(水)～ 計7台を派遣 (大分市 2台、別府市、佐伯市、臼杵市、宇佐市、竹田市 各1台)	【生活環境部】 環境保全課 (097-506-3119)
26		トイレカー	八代市	3台	2台	3台	2台	7/30(木) 1台派遣(豊肥振興局) 8/4(火)2台追加派遣(西部振興局、中津市各1台) 8/24(月)現在、麦島コミュニティセンターに2台(県)鏡支所に1台(中津市)を配置	【生活環境部】 防災対策企画課 (097-506-3155)
27		公営住宅	-	-	-	-	-	県営住宅:8/4(火)～ 30戸(大分市、別府市、日田市、佐伯市、竹田市、豊後大野市、国東市) 市町村営住宅:91戸(12市3町1村)	【土木建築部】 公営住宅室 (097-506-4684)
28		入浴支援(別府市)	八代市	2台	-	2台	-	8/7(金)～8/27(木)まで支援予定 移動型温泉施設の設置、温泉運搬車2台派遣	【総務部】 市町村振興課 (097-506-2408)

【参考資料】 対口支援の活動状況

■7/28 16:27 地震発生
16:45 頃 九州地方知事会と調整
17:30 頃 リエゾン（2名）として県庁を出発
21:45 頃 熊本県庁着
22:00 頃 熊本県と協議
（八代市での情報収集）

■7/29 5:00 熊本市を出発
6:30 八代市役所着

以降、情報収集活動および対口支援の総括として、
各県との受入れ調整や避難所運営支援などの活動中
(8/28 22名（熊本県庁にも1名常駐）)

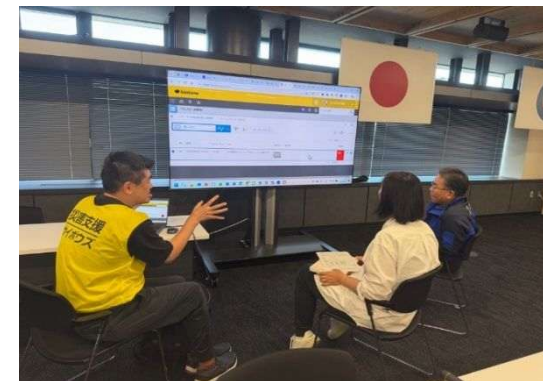
○八代市総括支援（市役所内）



本部での情報収集活動



対口支援チームの受入れ調整



避難所管理の打合せ

○避難所運営支援等



運営状況ヒアリング調査



段ボールベッド設置



トイレカー設置

令和 8 年度熊本地震に対する消防局の対応について

1 地震の概要（気象庁情報）

- (1) ① 発生時間 令和 8 年 7 月 28 日 16 時 27 分頃
② 最大震度 7 熊本県：宇城市、氷川町
- (2) ① 発生日時 令和 8 年 7 月 28 日 16 時 29 分頃
② 最大震度 5 弱 熊本県：宇城市
- (3) ① 発生日時 令和 8 年 7 月 28 日 17 時 08 分頃
② 最大震度 5 弱 熊本県：八代市、上天草市、天草市等
- (4) ① 発生日時 令和 8 年 7 月 29 日 22 時 19 分頃
② 最大震度 5 弱 熊本県：八代市、上天草市、天草市

2 緊急消防援助隊大分県大隊

(第 1 次派遣隊) 28 日 18 時～31 日 0 時
大分市消防局 10 台 34 名
その他県内消防本部 24 台 88 名
合計 34 台 122 名

(第 2 次派遣隊) 30 日 9 時～8 月 2 日 15 時
大分市消防局 10 台 34 名
その他県内消防本部 24 台 87 名
合計 34 台 121 名

(第 3 次派遣隊) 8 月 2 日 5 時 30 分～11 時 12 分宿営地到着
大分市消防局 救急車 2 台 6 名
佐伯市消防本部 救急車 1 台 3 名
国東市消防本部 救急車 1 台 3 名

※8 月 1 日 18 時 45 分、消防庁から九州ブロックの救急隊以外の部隊に対し引揚げ指示。救急隊 4 隊を 3 次派遣、4 次派遣。

以降、5 次派遣から 1 隊減隊し救急隊 3 隊を派遣。

6 次派遣から救急隊 2 隊に減隊。

※8 月 13 日 13 時 30 分、消防庁から 8 月 14 日 17 時 00 分をもって緊急消防援助隊の全隊の引揚げ指示。（派遣終了）

- 3 宿営場所：八代市鏡文化センター(7 月 29 日 2 時 56 分到着)
熊本県立あしきた青少年の家に変更（7 月 30 日 22 時 36 分到着）

- 4 活動場所：八代市鏡地区（7 月 29 日 3 時 50 分活動開始）
八代市氷川町（7 月 29 日 15 時 00 分活動開始）
八代市氷川町（7 月 30 日 8 時 00 分活動開始）
八代市鏡地区（7 月 30 日 15 時 55 分 二次派遣隊活動開始）

5 活動内容：

- ① 倒壊建物から要救助者一名救出（7 月 29 日 7 時 25 分）
- ② 倒壊建物内から別府救助が要救助者一名救出（7 月 29 日 10 時 15 分）
- ③ 救出した傷病者を大分東救急が病院搬送（7 月 29 日 11 時 15 分）
- ④ 倒壊建物から要救助者一名救出（7 月 29 日 17 時 30 分）不搬送
- ⑤ 爆発で破壊されたイオンモール熊本での検索活動
- ⑥ 熊本労災病院を拠点とした広域救急搬送。（主に熊本市内へ転院搬送）
- ⑦ 避難者の健康確認及び熱中症パンフレット配布。
- ⑧ 介護老人福祉施設から避難所までの移送。

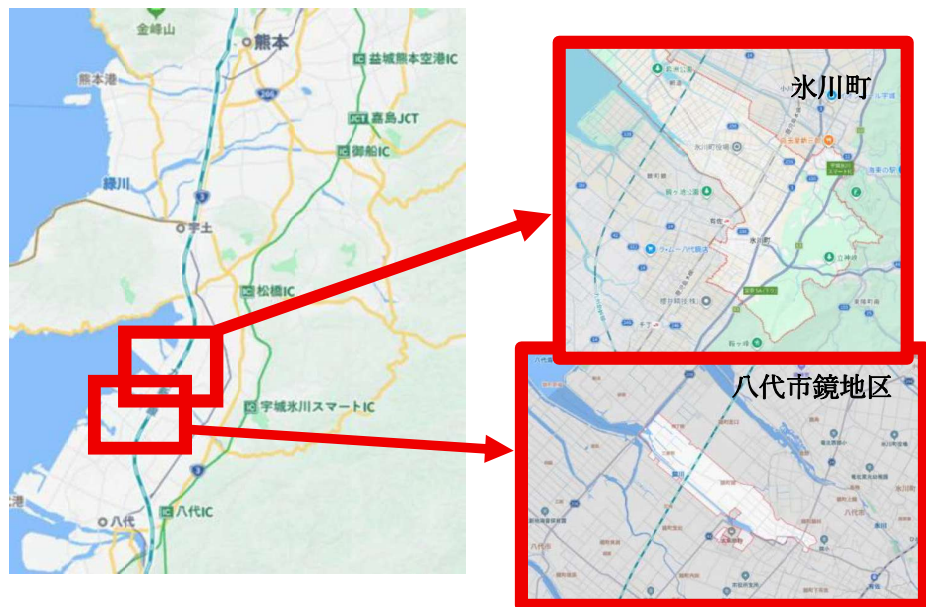
地震発生から 72 時間（1 次派遣）は、倒壊建物からの救助救出活動に加え、病院間搬送などの救急活動が主な活動となりました。

72 時間経過後（2 次派遣）は、急病事案が中心の救急活動となり、救助活動については他県の救助隊や災害救助犬と共に倒壊建物の再検索活動に移行され、時間経過とともに、必要とされる部隊が変化しています。

3 次派遣以降は救急隊のみの派遣となり、被災消防本部での救急事案や DMAT との活動、避難者の健康確認活動に移行しています。

現在は被災消防本部での救急事案に加え、介護老人福祉施設から避難所までの移送活動を行っています。

このように、救急隊のみの活動や通常の救急事案の活動は、これまでの緊急消防援助隊の想定にない活動ですが、被災地の状況に応じて柔軟に対応しているものとなります。



6 活動写真



1 広域緊急援助隊 41名

○警備(救出救助)部隊

大分県機動隊、九州管区機動隊等 26名

7/28 16:28 発生

19:37 大分県出発

7/29 1:01 熊本県到着(活動開始)

氷川町等において救出救助活動

7/30 午後 活動終了 帰県



救出救助部隊

○交通部隊

交通部交通機動隊、高速道路交通警察隊等 15名

7/28 21:20 大分県出発

7/29 3:03 熊本県到着(活動開始)

宇城市内において信号の滅灯した交差点
などにおける交通整理等に従事

8/1 午前 活動終了 帰県

8/17～8/21 高速道路における交通整理等に従事



交通部隊

2 被災者支援部隊 6名

○県警本部生活安全部及び警務部の警察官により被災者
支援隊(6名：男性4、女性2)を編成

7/30 大分県から現地入り

八代警察署管内の避難所を巡回し被災者からの相談
受理や避難所の防犯警戒等に従事

8/8 活動終了 帰県

8/24から被災者支援部隊(第2次)を派遣中(9/2まで)

○活動概況

・7/31～8/7(8日間) 7:00～17:00活動

・8日間で延べ30箇所、約70件の相談等を受
理し関係機関等へ引継ぎ

・避難所の駐車場や自宅周辺で車中泊する被
災者にも声掛けを実施

・避難所の防犯警戒等も実施

【相談内容】

「自宅が無人で心配なので警戒して欲しい」

「避難所に不審者が出るので不安」 etc…



被災者支援部隊

3 被災地における防犯対策部隊

○被災地における犯罪抑止のため各種防犯対策部隊を派遣

○特別自動車警ら部隊(被災地における警ら、警察活動支援)

第1期 7/29～8/7 8名

第2期 8/11～8/20 4名

第3期 8/28～9/6

○特別警備部隊(被災地における空き家等の警戒活動)

第1期 8/3～8/12 10名

第2期 8/12～8/21 10名

第3期 8/21～8/30

○特別機動捜査部隊(被災地における初動捜査活動)

第1期 8/17～8/26

○特別犯罪抑止部隊(被災地における防犯カメラ設置)

第1期 9/9～9/19

○活動の概要

・特別自動車警ら部隊

9:30～翌日9:30までの24時間勤務

110番対応などの警察活動支援

・特別警備部隊

9:00～翌日9:00までの24時間勤務

倒壊家屋、空き家等における警戒のほか、車中泊する被災
者に対する声掛けを行い、災害関連死予防活動も実施

・特別機動捜査部隊

9:30～翌9:30までの24時間勤務

110番対応などの初動捜査活動

被災地域、避難所等における防犯警戒活動

○特別犯罪抑止部隊の派遣

・警察庁では、被災地における犯罪抑止を目的として、街頭
等における防犯カメラ(約950台)の設置を進めている。



特別自動車警ら部隊



特別警備部隊

令和 8 年熊本地震日本赤十字社大分県支部対応概要

【大分赤十字病院 DMAT 活動経過】

1. 派遣期間 7 月 28 日(火)～31 日(金)
2. 活動場所 済生会熊本病院（県央南 DMAT 活動拠点本部）
3. 派遣職員 医 師：吉住救急部長
看護師：小田原師長・羽明師長・
ロジ：日野放射線技師・新宮係長(支部)
4. 活動内容 県央南圏域搬送調整班として、拠点本部内で活動
○主な内容
・透析患者を県南（氷川、八代）から県央（熊本市内）搬送が必要となる可能性があったため、受入医療機関（患者受入可能人数）や搬送手段の調整
・外傷患者が多く、整形関連で、熊本労災病院にて患者受入れできなくなりそうであったため、受入れ可能病院の調整
・熱中症患者等の搬送が必要な患者に対して、DMAT チームで搬送するのか消防に依頼するのか調整

○気づいた点
・急性期であったため、指揮命令系統が確立されてなく、情報をどこに上げていいかわからない時があり、情報共有もうまくできていなかった部分があったため、いかに早く確立させていくかが重要になってくる。

搬送調整を行う大分赤十字病院 DMAT チーム



※参考

【救護班活動経過】

○救護班第 1 班

1. 派遣期間 7 月 31 日(金)～8 月 2 日(月)
2. 拠点場所 熊本労災病院、八代保健所
3. 活動内容 避難所アセスメント、巡回診療、こころのケアニーズ調査
4. 派遣職員 医師 1 名、看護師 3 名、薬剤師 1 名、ロジ 2 名

○救護班第 2 班

1. 派遣期間 8 月 6 日(木)～9 日(日)
2. 拠点場所 八代保健所
3. 活動内容 避難所アセスメント、段ボールベッド組み立て・設置、DVT 対策、こころのケアニーズ調査、口腔ケア対策、D24H 抽出課題の改善状況
4. 派遣職員 医師 1 名、研修医 1 名、看護師 3 名、薬剤師 1 名、ロジ 2 名

○救護班第 3 班

1. 派遣期間 8 月 1 2 日(水)～1 5 日(土)
2. 拠点場所 氷川町健康センター
3. 活動内容 避難所実態調査、継続的な支援の必要な避難者の健康相談票の確認、巡回診療、在宅避難者への自宅訪問、避難所縮小へ向けた協議
4. 派遣職員 医師 1 名、研修医 1 名、看護師 3 名、ロジ 3 名

【今後の見通し】

大分県支部からは、日赤 CoT1 班、救護班第 4 班～6 班、こころのケア 1 班を派遣予定
医療ニーズは、現状ほとんどなく避難所縮小に向けたアセスメントを中心に行っていく状況となっている。
こころのケア班については、行政職員を対象としたリラクゼーションルーム開設しており、各県支部毎にシフトを組んで対応中

【救護班活動の様子】



避難所で巡回診療を行う救護班（氷川町）



避難所で巡回診療を行う救護班（八代市）



避難所の区画整理を行う救護班（八代市）



保健所チームと避難所アセスメントを行う救護班（氷川町）



段ボールベッドを設置する救護班（氷川町）

令和8年熊本地震におけるDHEAT及び保健師等チームの活動概要

R8.8.28 大分県防災会議
健康政策・感染症対策課

DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）

災害時保健医療福祉活動チームの連絡調整等、被災地の保健所が行うマネジメントの支援を行うチーム

派遣先	八代保健所(熊本県八代市)
派遣期間・人数	8月3日～8月31日 1班5名×5班＝25名
派遣職種	医師、保健師、管理栄養士、薬剤師、化学職、事務職
活動内容	・八代地域保健医療福祉調整現地本部の運営支援 ・JMAT(日本医師会)、JRAT(リハビリ)、JDAT(歯科)等の各種チーム間の連絡調整 ・通常業務再開に向けた助言



保健師等チーム

避難所等における避難者の健康管理や、医療・保健・福祉ニーズの把握、衛生管理、健康教育、被災地域の巡回訪問指導等を行うチーム

派遣先	八代市役所(熊本県八代市)
派遣期間・人数	7月31日～9月30日(予定) 1班4名×10班＝40名(予定)
派遣職種	保健師、管理栄養士、事務職
活動内容	・避難所巡回による健康管理(避難者の体調確認、要配慮者への対応等) ・在宅避難者の巡回訪問 ・栄養支援(避難所の食環境整備等)



R8年熊本地震における災害ボランティアセンター活動状況

令和8年熊本地震 市町村災害ボランティアセンター設置運営状況一覧表

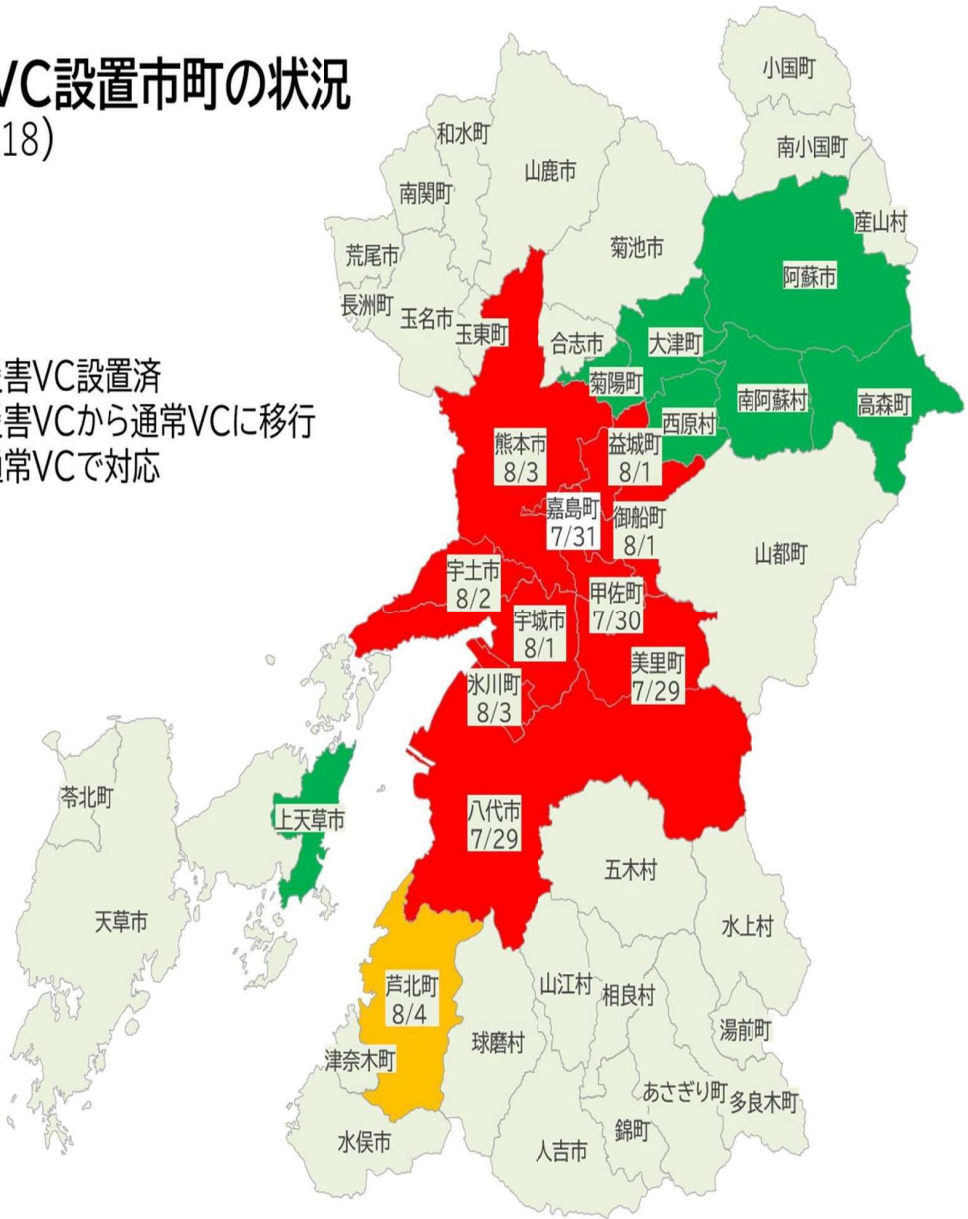
R8.8.24現在

No.	災害VC 市町村名	開所日	Vo活動 開始日	VC設置場所	V募集 範囲	ニーズ件 数	活動件数	完了数	完了率	V活動者数
1	クマモトシ 熊本市	R8.8.3	R8.8.4	熊本市社協 本所/ 南区サテライト	全国	410	379	318	78%	1,183
2	ヤツシロシ 八代市	R8.7.29	R8.8.10	八代市鏡武道場・ 総合グラウンド	全国	2,425	369	252	10%	2,178
3	ウトシ 宇土市	R8.8.2	R8.8.3	宇土市旧教育委員 会	全国	556	461	335	60%	1,145
4	ウキシ 宇城市	R8.8.1	R8.8.2	県博物館ネット ワークセンター多 目的広場	全国	2,009	1,087	401	20%	4,674
5	ミサトマチ 美里町	R8.7.29	R8.8.4	美里役場低用庁舎	全国	169	172	145	86%	728
6	ミフネマチ 御船町	R8.8.1	R8.8.2	御船高校 セミナー ハウス内	全国	279	293	248	89%	1,090
7	カシママチ 嘉島町	R8.8.1	R8.8.1	嘉島町福祉セン ター	県内	95	98	83	87%	304
8	マシキマチ 益城町	R8.8.1	R8.8.1	益城町保健福祉セ ンターはびねす	全国	378	416	352	93%	792
9	コウサマチ 甲佐町	R8.7.29	R8.8.5	甲佐町老人いこい の家	九州	137	95	83	61%	428
10	ヒカワチョウ 氷川町	R8.8.1	R8.8.8	すぱーく竜北 室内ゲートボール 場	全国	414	184	106	26%	1,009
11	アシキタマチ 芦北町	R8.8.4	R8.8.7	芦北町役場田浦支 所	—	57	56	54	95%	254
	合計					6,929	3,610	2,377	34%	13,785

件 件 件 人

災害VC設置市町の状況 (R8.8.18)

赤・・・災害VC設置済
橙・・・災害VCから通常VCに移行
緑・・・通常VCで対応



R8年熊本地震における大分DWAT(災害派遣福祉チーム)の活動

日時	内容
7月28日(火)16:27	熊本地震発生(最大震度7 M7.1)
7月29日(水)	【派遣に関する事前調査開始】 スムーズな派遣調整を行うため、大分DWATチーム員に向けて、派遣可能な日程について事前調査を開始
7月31日(金)	【応援派遣の正式決定】 全国災害福祉支援センターより、九州ブロックおよび中国・四国ブロックDWATへ応援派遣の正式要請が出された。
8月1日(土)	【派遣調整開始】 事前調査の結果をもとに、1クール4日間で派遣調整を開始。8月末までの調整を行う。
8月4日(月)	【第1クール派遣開始】 宇城市へ1チーム4名を派遣。(高齢者施設2名、障がい者施設2名 うち経験者2名)

1クール				2クール		3クール				4クール		5クール				6クール		7クール				8クール		9クール				10クール			
8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	9/2		
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				高齢者施設職員				高齢者施設職員				障がい者施設職員							
障がい者施設職員				高齢者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				高齢者施設職員				職能団体職員				障がい者施設職員							
高齢者施設職員				高齢者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				高齢者施設職員				障がい者施設職員							
高齢者施設職員				高齢者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員							
				社協職員																											
障がい者施設職員				高齢者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員							
高齢者施設職員				社協職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員							
障がい者施設職員				社協職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員							
				職能団体職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員				障がい者施設職員							

※赤文字は派遣経験者

②被災者支援の充実

1) 被災者に対する福祉的支援等の充実

★災害救助法、災害対策基本法

- 高齢者等の要配慮者、在宅避難者など多様な支援ニーズに対応するため、災害救助法の救助の種類に「福祉サービスの提供」を追加し、福祉関係者との連携を強化。災害対策基本法においても「福祉サービスの提供」を明記。
- 支援につなげるための被災者、避難所の状況の把握。



車中泊への対応



高齢者等への対応

一般避難所だけでなく、**在宅や車中泊、福祉避難所等**で生活する要配慮者への支援が求められるように。

熊本県内でのDWAT活動

- 避難所における要配慮者支援
- **車中泊避難者への支援**
- **福祉避難所の立ち上げ・運営**
- **在宅避難者の訪問**
- **社協と連携したニーズ調整**



避難所内で要配慮者への声掛け・福祉的支援



車中泊避難者への声掛け(写真の車には透析患者が避難)



在宅避難をしている「避難行動要支援者」を訪問

事例：高齢女性と息子(障がい者)の家族

- ・避難所での生活に限界を感じ、在宅へ戻る
- ・被災前に利用していたデイサービスが使えなくなった
- ・罹災証明の申請方法が分からない
- ・息子は病院受診も十分できていない



<DWATの対応>

- ・罹災証明発行窓口を紹介
- ・担当ケアマネと相談支援事業所に連絡
- ・サービス利用再開の手続きと病院受診の調整

社協と連携した要配慮者支援

事例：高齢者夫婦(夫は全盲)

- ・避難所から毎日自宅へ戻り、妻一人で片付けを行う
- ・夫は全盲なので避難所での生活に不便を感じている
- ・早く自宅を片付けて、安心した生活を送りたい



<DWATの対応>

- ・災害ボランティアセンターへ連絡
- ・要配慮者の生活を安定させ、災害関連死を防ぐために、早めのボランティア活動を調整

